



昭和34年（1959）『御物法隆寺錦 膳妃御下帯 昭和己亥』（部分）
龍村平藏 製



赤神山
（あかがみやま）
赤神山とは、太郎坊
大神様がお鎮まりに
なる近江国高天原、
すなわち太郎坊山の
御名です。



↑ 太郎坊宮HP ↓



太郎坊・阿賀神社宮司 奥田素之

祝
— 聖徳太子一四〇〇年 —
悠久の近江・魅力再発見事業開始

発行日 令和四年六月一日
題字 陸軍大将 一戸兵衛
発行者 太郎坊宮社務所
東近江市小脇町二二四七番地

令和四年五月二十一日、太郎坊宮山上
聖域広場において「聖徳太子一四〇〇年
悠久の近江・魅力再発見事業」の開会式
が挙行され、令和五年末まで続く一連の
催しが始まりました。

当神社が位置する東近江地域は、聖徳
太子にまつわる物語や文化が日本で最も
多く伝わる場所です。この近江の風土の
もとで創造・伝承された聖徳太子の物語
や文化の豊富さは、奈良や大阪、京都を
も上回るといわれます。我々の日常生活
の中に溶け込み、今なお生きる様子は、
まさに「近江の聖徳太子」と称して誇り
得るものです。

斯様に近江と聖徳太子が結びついた所
以は、人々が太子の尊き御力を願ったか

らに他なりません。困難な時代にあつて
も日々の平安と無事を約し、加護を授け
賜う尊き神霊——。人々は、その垂迹
（衆生救済の為に、尊い神霊が姿を変え
て出現した存在）こそが聖徳太子だと感
得し、敬仰し続けたのです。こうした誠
に真摯な祈りの中に「近江の聖徳太子」
の源流を認めることができます。

幕開けを迎えた本事業では、聖徳太子
に縁ある社寺での特別御朱印の授与や秘
仏拝観を始め、遺徳を偲んだ『近江の聖
徳太子絵伝』公開、伝統芸能『江州音頭』
聖徳太子詩の新作披露、市民参加型のミュー
ジカル公演等が予定されています。

近江の地で、親しみをもって語り継が
れる聖徳太子。その偉業を顕彰すると共
に、太子を心の拠り所とした古人に思い
を馳せるひと時が、いま始まります。

社務日誌 (抄)
参集殿日誌 (抄)

一月 歳旦祭

太郎坊宮敬神講社新春祈願祭
同評議員会

功績者表彰式典

古神札等焼納祭

献灯講社祭

BS京都ラジオ様

「ほっかほかラジオ」出演

関西電力送配電滋賀支社様

防火保安点検奉仕作業

二月 節分厄除大祭

厄除招福神事

聖徳太子一四〇〇年記念

『近江の聖徳太子絵伝』

完成披露会

紀元祭

平和堂アル・プラザ八日市様

『出張太郎坊宮！』

おまもりづくり・巫女さん

体験イベント

びわ湖のひな人形めぐり展

共催ひな人形展

天長祭

祈年祭

諸祭事を齋行しました

本年上半期の諸祭事も、各位のご奉賛を得て滞りなく執行しました。此処に改めて御礼申し上げます。

※一部祭事は関係者のみでの齋行、参列者人数の制限、付帯行事の縮小などを行いました。

功績者表彰式典

敬神講社の講元役員様を始め、当神社の護持発展に特別顕著な功績があった方を表彰する式典です。

本年は、左記の方々へ感謝状を謹呈致しました。



近江八幡市	宮村茂道 様
甲賀市	平田康弘 様
甲賀市	三ヶ月義信 様
近江八幡市	吉田栄治 様
東近江市	松岡久司 様
近江八幡市	園田はる枝 様

出張・太郎坊宮！体験イベント

東近江市にある平和堂アル・プラザで、おまもりづくりや衣装着付けを体験する「出張・太郎坊宮！」

を行いました。衣装体験は特に好評で、子どもたちは狩衣かりぎぬや巫女装束に身を包みポーズを決めたり、写真を撮ってもらったり、大はしゃぎで参加して頂きました。

ひな人形めぐり展

滋賀県全域で催された「びわ湖のひな人形めぐり展」に参画し、お雛様の展覧会を行いました。本年は各ご家庭で大切に飾り続けられたお雛様七台をお預かりし、参集殿の大広間に並べて展示。鮮やかな雛飾りを愛で、大勢の方に足を運んで頂きました。



三月

NIKKY様

『鶴瓶の家族に乾杯』撮影
例祭

聖徳太子一四〇〇年記念

テーマソング『天子の雫』
奉納演奏

八日市ライオンズクラブ様

聖徳太子尊像・和奉の鐘
奉納奉告祭

藤井清様・藤井健司様

「以和為貴」碑奉納奉告祭

四月

日供講並びに毎日毎月祈願者
講社祭

株式会社奥田工務店様

遙拝所神殿奉納奉告祭

エース証券株式会社様

石造鳥居奉納奉告祭

NIKKY様

『関西ええトコ』取材撮影

五月

お田植大祭

東近江バイオレッツ様

必勝祈願祭

近江の聖徳太子魅力発信事業

六月

夏越大祓式

毎月

十五日 古神札等焼納祭

二十三日 月次祭
二十八日 赤神不動尊月次祭

◆聖徳太子尊像・和奉の鐘ご奉納

八日市ライオンズクラブ様から、活動開始六十周年記念として『聖徳太子尊像』及び『和奉の鐘』をご奉納頂きました。この鐘銘には「奉仕の心と平和への願いを込める」という意味があります。ご参拝の折には、祈りを込めて打ち鳴らして下さい。



◆遙拝所神殿ご奉納

日野町の株式会社奥田工務店様から、第二駐車場入口に本殿の神座を遙拝するための石造神殿をご奉納頂きました。



◆石造鳥居ご奉納

大阪市のエース証券株式会社様より、一願成就社へ至る参道途中に石造鳥居をご奉納頂きました。



※その他、年始より多数のご奉賛及びご奉納を賜っております。紙面の都合上全てのご紹介が叶いません事をお詫び申し上げます。

「鳥居よ、よみがえれ」
木製鳥居の受付を再開しました

木製鳥居の寄進受付を再開致しました。祈りと感謝の心を鳥居に込めて、大神様の御前へご寄進下さい。

・奉納料 一基 十一万円
・特典 鳥居本体へ、芳名や願い事を
直接お書き致します



※鳥居寄進の詳しい資料をご用意しております。ご希望の方は、お申し付け下さい。

山形實顧問

神社本庁敬神功労章受章

去る令和四年四月二十七日、神社本庁鷹司尚武統理より、当神社の山形實顧問に対して『敬神功労章』が贈られました。山形顧問には当神社責任役員を長年お勤め頂いたほか、境内の整備・発展にも絶大なる寄与を頂いており、多年に亘って神徳の宣揚に貢献頂いた功績が顕彰されました。

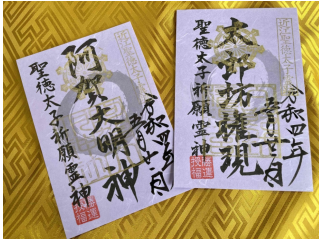
聖徳太子一四〇〇年祭「近江の聖徳太子・魅力発信」事業

聖徳太子没後一四〇〇年の節目にあたる今年。聖徳太子伝説を有する東近江の社寺が中心となった「近江の聖徳太子・魅力発信」事業が始まりました（写真右・知事や首長臨席のもとで行われた開会イベント）。



当神社では、令和四年十二月四日に行うお火焚大祭を「聖徳太子一四〇〇年祭記念」として行います。他の祭事においても、太子の遺徳を顕彰する記念祭事として厳かに執行致します。

また、画家の草笛由美子氏が当神社の御神徳から着想を得て製作した『太子絵巻』（写真中央）や、特別なご朱印紙（写真左）の授与も行っております。



その他にも、東近江地域に伝わる聖徳太子伝承を総括した冊子『近江の聖徳太子絵伝』の一般販売も予定しています。

・QRコードから事業概要をご覧ください



山に鎮まる神に対し、聖徳太子は国家の安泰と万民の幸福を祈願します。山の神は太子の願いを聞き届けることを約束。それを喜んだ聖徳太子は、人々に「ここは我が神の山である」と語ります。この言葉が、時代を経る



赤神山頂上より。1400年前、聖徳太子も目にしたであろう眺望が広がる。



内に「赤神山」へ変化したといわれます。さて、聖徳太子が祈りを奉げた神の正体は、太子の祖先にあたる神様でした。その名は正哉吾勝勝速日天忍穂耳大神とまさかあかつからはやひあめのおしほみみの おおかみいい、聖徳太子へ困難に打ち勝つ「力」を授けたと言われています。



太郎坊大神御神影。勝利の神様として敬仰されている。

表紙解説

今号表紙は聖徳太子と縁ある『御物法隆寺錦・膳妃御下帯』を取り上げました。

原品は法隆寺に伝わった織物で、聖徳太子の妃の一人・膳妃の帯とされています。この膳妃は太子から最も愛された妃といわれ、数人いた妃の中で唯一、太子と共に葬られた人物です。

本作は、染織工芸の名匠・龍村平藏の手による複製です（当神社参集殿蔵）。小珠文を収めた格子内中央に蓮華文、左右には蕨手文を配した構図で、緻密に織り成された逸品です。

—太郎坊尊の大祭典— 千日大祭のご案内（七月二十三日・二十四日）

—千日大祭に参拝すれば、
千日間の参拝と
等しきご利益を得る—

—

こう言い伝えられる、
太郎坊宮・千日大祭。
「太郎坊尊の大祭典」と
讃えられた千日大祭は、
数百年の歴史を持つ祭礼
です。

今年も古式にのっとり、
諸願成就の大祈禱を執り
行います。大祈禱では、
皆様に太郎坊大神様の尊
いご加護があるようお祈
りし、巫女による神楽の
舞を特別に奏でます。

また、大祭期間中は境
内のライトアップを実施。
神秘的な空間を描き出し
ます。

◆千日大祭 大祈禱

（午前九時から午後四時）

千日大祭期間中のみ行う大祈禱。特別
祈願神札等をお授けします。



◆千日大祭 各種催し

◆特別な「おまもりづくり」

千日大祭期間中だけの特別なおまもり
づくり体験をご用意。

◆奉納ふうりん受付

風鈴の短冊に願いを
書き、涼やかな音色と
共に神様へささげます。

毎年好評のふうりん絵
付け体験も、参集殿で
開催します。

◆千日大祭参拝記念ご朱印

千日大祭の祭日に参拝された方だけに
特別な御朱印をお授けします。

◆奉納花火大会

神様へ奉納され
た花火が、夜空を
彩ります。七月二
十三日実施計画中。

※新型コロナウイルス感染症の状況に
より、一部催事が中止または縮小に
なる場合があります。

なる場合があります。



新しい授与品のご紹介

◆和守（なごみまもり） 1000円

聖徳太子一四〇〇年祭を記念し、特別に
製作・祈願を行ったお守りです。調和を重
んじられた聖徳太子の遺徳を仰ぎ、物事が
順調に進むよう祈念致しました。



◆克勝守（なのおごとくかつまもり） 1000円

太郎坊宮の神様の御神徳
である「己に克つ」「総て
に勝つ」を現した、カード
型のお守り。文字と御神紋
を透かし彫りにすることで
「先を見通す」縁起を掛け
ています。



◆ペットの御守 1000円

ペットがいつも幸せであるように祈願し
た御守です。中には
名前や連絡先を記入
したカードを納める
ことができます。



故人の御霊をやすらかに おまつりする

霊璽奉安所 祖霊殿のご案内

この度、当神社は社会的な要望にお応えするため、霊璽奉安所・祖霊殿を新設致しました。

【霊璽】とは、仏教でいう位牌です。神道では古くから「人の死後は神になる」と信じられており、故人や先祖の霊が宿った霊璽を大切に「祭祀（祀り）（お祀りする）こと。仏教でいう供養（くやう）」する風習があります。

神社が寺のように「先祖祀り」を行うことを不思議に思われるかも知れません。

ですが、昔の日本人は「山に坐す神の姿は祖霊なり」と語り伝え、先祖の魂は山々の高みから子孫を守護すると考えていました。

こうした伝統に基づく祖霊殿は、家庭での祭祀が困難になった霊璽をお預かりし、ご家族に代わって末長くお祀りする場所です。

すなわち、太郎坊大神様の近くで故人の「永代祭祀」を行うための御殿です。



【神域内に建つ祖霊殿の外観】
 国定登録有形文化財・長楽殿。歴史ある建築物が、祖霊の平安を約束します。



【長楽殿内に設置する祖霊殿】



総白木造りの御祭壇に霊璽を安置します。
 毎朝、神職が祖霊にお供えを行います。
 おまつりは、おごそかな神道儀式で執行致します。

◆祖霊殿の概要

- ・永代祭祀料 三十万円
 （その他の費用は一切ありません）
 条件など

- 一、生前の宗旨・宗派は問いません。霊璽の奉製作は当社で承ります。
 - 二、おまつりは、神社神道の祭式で行います。
 - 三、毎朝のお供えに加え、御命日に年祭を行います
- ・資料をご希望の場合は神社内の受付やお電話・メールでご請求下さい。

今後の主な神事予定

- ◆夏越大祓式（六月三十日）
- ◆合祀祭（七月十五日）
- ◆献茶祭（七月二十三日）
- ◆千日大祭（七月二十三・二十四日）
- ◆観月祭（九月十日）
- ◆拔穂祭（九月下旬）
- ◆秋季講社大祭
- ◆一願成就社報恩祭（十一月三日）
- ◆新嘗祭（十一月二十四日）
- ◆献菊祭・菊花展（十一月上旬）
- ◆七五三参り（十一月中）
- ◆お火焚大祭（十二月四日）
- ◆大祓式（十二月三十一日）